

その他の建設業－その他における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	倉庫内を片付け中に、仮置きしていた鉄筋に引っかかり転倒、置いてあった角材に左背中を強打した。自力で歩行等は出来るものの痛みが酷く、背中側2番目の肋骨が骨折していることが分かり、全治1ヶ月程度にて安静が必要になった。	67	30～49
1	19～20	階段を両手に重いゴミ袋を持って下りていた時、踊り場で全体重が右膝にかかり転倒した。	61	30～49
1	13～14	現場から事業場に戻ってきた際、自動車から降車しようとして躓いて転んだため負傷した。	58	1～9
1	13～14	事務所内で書類を探しながら狭い所を右から左へ移動している時に15cmの段差に気がつかず転倒し、その際に電話を待っていたため、腰から転んでしまった。	61	10～29
1	11～12	当社倉庫で型枠作成のため、立てかけてある合板を取り出していたところ、手前の合板が倒れてきた。とっさに横に逃げた際に横向きに転倒し、頸椎損傷を負った。	67	—
2	11～12	解体工事現場で廃材の分別作業をしていた際に、ブルーシートに残っていた雪に足を滑らせて転倒し、左側頭部を廃材にぶつけて挫創した。	49	—
2	13～14	自社工場内において、看板取付け工事に行く為の準備作業中、壁面の目の高さに掛けてあった梯子を下ろそうとして転んだ。	46	1～9
3	10～11	樹木植栽工事中、庭から駐車場へ移動の際、掘削中の穴に足をとられ、顔から転倒し裂傷を負った。	45	1～9

3	19~20	事業所内において荷物を運び出しているとき、荷物に足をかけて尻もちをついて転倒し負傷した。	29	1~9
3	14~15	自社倉庫にて片付け作業中、一斗缶の移動をしていて、床に塗料がこぼれない様にビニールシートの上から布のシートをひいた上に一斗缶を置き、振り向いた時に足が滑ってしまい、踏ん張ろうとして左足踵を捻り負傷した。	38	1~9
3	11~12	約6m程度のサクラ枯木を切り倒す作業をしている際に、木の頂部から地上へロープを張って倒れる木を支えていたが、そのロープを手に回し握っていたため、木が倒れるのに合わせて引っ張られ、転倒し負傷した。	73	1~9
3	13~14	ライン工事現場にて、脚立（6尺）を使用する際の塗装作業中（配管）既設配管が左側にあるため、脚立の右側を昇降し、脚立を降りる際に下から1段目と2段目の間に足を踏み外し転倒し、右足を捻り負傷した。	19	1~9
3	15~16	会社の敷地内にて片付けをしていた際、よそ見をしていて、ゴミ捨て場のごみに躓き転倒した。普段なら足が出て着地するところを、足がもつれて膝から落ちてしまった。	35	10~29
4	19~20	現場から会社に帰ってきたあと、会社の駐車場で車から道具を持って降りる際に転倒して右手を骨折した。	46	1~9
4	16~17	工業用足場資材の積込を行う場所で、フォークリフトにて運搬作業中に、フォークリフトが入っていけない場所の荷物を歩いて取りにいった際、足元の段差に気付かずに躓いて、鉄バタ（積荷の突起している部分）に肋骨を強打した。	23	10~29
5	13~14	除染作業建物北側で、草袋（3kg程度）2個を両手に持ち、車に持って来る時に狭い場所で側溝蓋の付いていない場所で右脚を踏み外し、バランスを崩し尻もちをついたところ、尻を強打した。	49	1~9
5	13~14	個人宅水道工事作業中、地面に置いてあったマンホールの蓋に躓き転倒し、左足を負傷した。	31	—
5	11~12	一輪車でモルタルを運搬中、段差のある不安定な場所でバランスを崩し、左足首を捻挫した。	24	10~29

5	8~9	作業員の出勤確認の為、工事現場へ出張したところ、雨で滑って転び骨折した。	73	10 ~ 29
5	10~ 11	お客様宅へ見積りに行く途中、高さ30cm位のブロック壁を乗り越える時に躓いて左肩より転倒した。	41	1~ 9
6	17~ 18	今回の災害は、住宅新築工事現場にて発生したものである。取引先が工事で使用する部材（タイル接着剤）を現場にお届けした後、現場外回りの点検・清掃を行っていた。玄関付近を点検するため、玄関ポーチ上に上がろうと設置してあった足場板に足を掛けたところ足場板がずれ、バランスを崩して転倒した際、左足左腕を打ちつけた。当日は若干の痛みであったが、翌日になり左足が腫れて痛みが増した。	46	—
6	9~ 10	スレート更新工事のため、スレート母屋の撤去工事を行っていた。親網・セーフティブロックを使用し、既設スレートの上に足場板を載せ、その上で作業中、腐食で劣化していた母屋が重みに耐えきれず座屈し、スレート・足場板ごと少し下がった。足場板の上に立っていたので、下がった勢いでバランスを崩し、スレートの上に足を置いたが、スレート止めフックも腐食していたためスレートがずれて、足を取られて転倒し、足元の足場板に左手をつき骨折した。	57	1~ 9
6	16~ 17	受注予定の現場調査のため敷地内に入ろうとし、閉鎖用ロープ（高さ30cm位）を跨ぐ際、ロープに足を絡ませて転倒した。救急車にて病院へ搬送され、右足首3か所骨折が判明した。	52	1~ 9
7	7~8	工事のために工事用仮工場を設置、その敷地内養生シートを被せた資材を保管していた所、工事の段取りのために養生シートを外す時に、前日の雨でシートが濡れていたため、足を踏み入れた時に足を滑らし転倒、左足足首を骨折。	54	10 ~ 29
7	16~17	営業所内の宿舍脱衣所において、風呂の準備を行っていた。すのこを指定の場所へ置くためにすのこを持ち移動中、床が濡れていたこともあり、転倒。後頭部を強打したものである。	48	30 ~ 49
7	22~	自動車に乗り込むために徒歩での移動中、仮囲いに使用していた仮設ガードレール（H700）を跨いで乗り越えようとしたところ、右足を引っ掛けてしまい、 balan	46	30 ~

	23	スを崩して転倒した。その際に右膝から着地したため、右膝を負傷した。		49
7	14～ 15	建設解体工事現場で解体作業中、片付けをしていたとき、現場障害物に躓き体勢を崩し、転倒した。その際、基礎から立ち上がっているアンカーボルト（120mm）で脇腹から胸を裂傷した。	20	1～ 9
7	9～ 10	2F廊下において材料を運搬中、足を滑らせ転倒し、その際に左手をつき骨折した。	61	1～ 9
7	12～ 13	当社施設においてダンボール箱を足で踏み潰す作業を行っていた。その際にダンボールの上で右足が滑り、垂直に沈む形で体が倒れたので、右手で体を支えようとして手をついた際に右手首を骨折した。	44	10 ～ 29
7	15～ 16	作業場にてプレハブの撤去作業中に、敷地内のマンホールに足が引っ掛かり転倒し、右足首を痛めた。	66	1～ 9
9	11～ 12	墓地で工事をしていて（山のような所にある）坂道を下って歩いている時に、足をすべらせて転んだ。その時、足のくるぶしとかかとの骨を折ってしまった。	45	10 ～ 29
10	14～ 15	道路排水溝の、U字溝コンクリート蓋の穴のすき間にハイヒールが入ってしまい転倒して、骨折、捻挫をしてしまった。	52	10 ～ 29
10	17～ 18	会社の階段で足を踏み外して両膝を強打した。原因としては荷物で足元が見えず周りが暗かった。	56	1～ 9
10	9～ 10	当社内事務所下廃材置き場において廃材の分別仕分けを行っていた。左足を廃材上に載せた際、足場が悪くバランスを崩し廃材上に倒れた。その下にあったアンカーボルトに接触し引っ掛けた状態で負傷したもの。	66	1～ 9
10	11～ 12	当社倉庫内にて、仮設資材の整理作業中、足場支柱を立てる部材のジャッキ（3.1kg、60cm）を7～9本かかえて移動させる作業中、バランスを崩し、転倒した。部材を持った左手を下にあった部材に挟み負傷した。材料を多く持ちすぎたこと、転倒した時に材料をはなさなかったことが負傷の原因と考えられる。	28	10 ～ 29
		解体工事において、家屋解体作業で電話線の切断の作業中に電話線のワイヤーが切		

10	9～ 10	断の弾みで跳ね返り、自分の所へ向かってきたので、それを避けようとしてバランスを崩し、後方へ倒れ込み道路に転倒した。その際、胸と背骨を骨折した。	28	1～ 9
10	17～ 18	冷凍庫クーラーダクト氷落とし作業時に床に落ちた氷をほうきで掃除していたところ、足を滑らせ左膝を受傷した。	60	1～ 9
11	10～ 11	工場内にてサブレを仕込むためミキサーに材料を入れるため踏み台に乗っていたおり、降りる際に踏み外してしまい左膝を強打し、負傷してしまった。	64	100～ 299
11	15～ 16	当社資材倉庫にて翌日の現場作業準備中に、H鋼の破片に足が引っ掛かり前のめりに転倒してしまった。その際、右脇腹を足場パイプに強打した。その後、痛みが引かないため病院に行った。	62	—
11	11～ 12	発掘現場にて、しゃがんで図面作成中に担当者に声をかけられ、立ち上がろうと後退した時、すぐ後ろにあった小穴（直径30cm、深さ20cm）で足が滑って転び、右手首を骨折した。	63	30～ 49
11	16～ 17	自社工場において、作業中に鉄板上を移動していて、バランスを崩し転倒し、左手をついた際に、同部を負傷した。	52	1～ 9
11	15～ 16	会社の倉庫において、トラックから資材や荷揚げ用ウインチ等の荷降しをしていた。作業終了後、荷台から地上に降りた際、バランスを崩し転倒し、近くに積み上げてあった構造用合板に顔をぶつけ負傷した。	69	10～ 29
11	11～ 12	資材センター棧木置場において、棧木整理の作業中に?=4mの束ねた棧木15本位を相番（2人）で運搬移動をする際に、地面上に置いてあるバタ角に躓き、後方に棧木を持ったまま転倒した。その時、地面に背中と腰を強打して被災した。	39	1～ 9
11	13～ 14	社長の指示により、当社の土場（資材置き場）内で、コンクリート基礎工事に使う、「型枠」や「抜き板」を洗浄して、破損材を選別して養生する作業を行っていた時、トラックの荷台に積み置かれた「抜き板」を、結束していたロープを解き、引き抜こうとしたが、抜けなかったため、再度、力一杯、手前にロープを引いたところ、突然、ロープが引き抜け、そのまま勢い余って斜め後方に転倒した。その際、トラックのあたり部分に身体を強打して負傷した。	76	1～ 9

11	22~ 23	受注した製品（家具）の上部を4尺脚立の3段目に乗り吹き付け塗装をしていたが、終わって下に降りようとした時左手で脚立を持ち、身体を支えていたが不十分であったようで足を滑らせ脚立ごと後方に倒れ転倒して左肩付近を打撲した。左肩付近に痛みがあったが、我慢していたが翌日咳をした時痛みがあった為、労災指定の保健医療機関の整形外科クリニックへ行き診察、治療等の行為を受けた。肋骨骨折だと判明した。	42	1~ 9
11	16~ 17	ビニール張り替えの作業が終わり、足場から高所作業車の枠に足を掛けた為、足を滑らせて転倒した。	48	1~ 9
12	11~12	1階便所にて内装解体作業を行っていた時、室内が仮設照明で暗い中で、ピットに通じる床点検口のフタが開いている事の発見が遅れ、右足を突っ込み、反動で転倒し、腰を床に痛打した。腰は痛かったが作業を夕方まで継続し、翌朝あまりに腰が痛いので病院を受診した。	75	1~ 9
12	9~10	保温板金をしたものにコーキングをする為、脚立に登りかけた時に脚立の脚の1ヶ所が土の上であり、その場所が沈んだ（右前）。慌てて手前に力を入れたところ、脚立ごと後ろに倒れ、右ひじをコンクリート部にぶつけた。	53	1~ 9
12	14~15	生コンを打設する現場で、生コンを一輪車にて運搬中、運搬経路が圧雪され、下り坂で足元が滑り、一輪車とともに右側に傾いて倒れ、右足を被災した。	32	1~ 9
12	16~17	倉庫の整理中、足を滑らせて左足を骨折した。	44	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html